

第87回日本皮膚科学会東部支部 学術大会を開催して

(2023年9月30日・10月1日)

※盛岡市民文化ホール（マリオス）、岩手県民情報交流センター（アイーナ）と
一部Web配信のハイブリッド開催

天野 博雄

岩手医科大学皮膚科学講座教授

はじめに

2023年9月30日・10月1日の2日間にわたり、盛岡市民文化ホール（マリオス）および岩手県民情報交流センター（アイーナ）において第87回日本皮膚科学会東部支部学術大会を主催しました（図1）。企画した段階では新型コロナウイルスの感染状況が少しずつ落ち着いてきているところではありましたが、感染状況の予測は正直困難でした。とりあえず現地参加を中心として、コロナ禍では困難であっ

た会長招宴会とカクテルパーティーも行うよう設定しました。一方で、東部支部の前後に西部支部大会が沖縄で、中部支部大会が京都でそれぞれ開催されるという予定であったため、これらの人気都市に押され盛岡に出向く現地参加者は少ないのではとやや悲観的でした。幸いなことに、ニューヨーク・タイムズ誌で2023年に訪れるべき世界の52カ所の都市の1つ（しかも2番目）に盛岡があがりました。この話題に後押しされたのか、結果的には現地参加が650人、Web参加を含めると900名を超える多くの方々が参加してくださり大盛況でした。

テーマ

今回の学術大会のテーマは、「進化する皮膚科学～過去を振り返り未来へつなげる～」にしました。新型コロナ感染症の流行により、各地の学会に直接出向く機会をもてず、学会場で総論的な教育講演をじっくりと聞くことができないため、総論に触れることなく過ごしている若手が多いと感じていました。そこで今回、シンポジウムや教育講演では過去を振り返り、そして現在、未来にそれをどう生かしていくかをお話いただこうと考えました。

会長招宴会

盛岡ならではの催し物として、わんこそば大会、さんさ踊り、岩手県産の日本酒試飲などを企画しました（図2）。わんこそば大会は参加型の出し物で、30人の参加者を年齢別に3グループに分け、1



図1 大会ポスター



図2 岩手県産の日本酒試飲コーナー(a), わんこそば大会(b)

分間に何杯のわんこそばを食べられるか競い合いました。この催し物は、かなり！盛り上がりが見られました。あらかじめ動画で勉強し臨んでくださった先生もいらっしゃいました。また、プログラム1日目終了後にはカクテルパーティーを催しました。ここでも多くの方々にご参加いただきました。

プログラム・特別講演

本学術大会の特別講演は2人の著名な先生にお願いすることができました。日本大学理事長であり、

小説家、エッセイストの林真理子先生、そして、新型コロナ対策分科会会長でいらした尾身茂先生です。両先生ともテレビなどで拝見、拝聴することがしばしばありましたが、直接のご講演となるとやはり違ったものがありました。お二人とも話巧者でわれわれの興味を逸らすことないうえ、こうした機会ではないと聞くことのできない苦労話なども交え、興味深い講演内容を頂戴できました。多くの先生から特別講演に参加してよかったという声が聞かれました。海外招聘講演はTel Aviv UniversityのYoseph A. Mekori教授に、肥満細胞に関するご



図3 岩手医科大学皮膚科学講座スタッフ一同

講演をお願いしました。アレルギーと肥満細胞についてこれまでの知見とともに、新しい情報を得ることができました。私の恩師であるMcMaster UniversityのJohn Bienenstock教授もぜひお招きしたかったのですが、去る2022年7月にご逝去されており、盛岡をご案内することができず残念の一言です。

シンポジウムはアトピー性皮膚炎、乾癬に加えて皮膚外科、レーザー治療、クリニックでの皮膚科診療をそれぞれエキスパートの先生にお願いしました。さらに教育講演、モーニング、ランチョン、スイーツ、イブニングのスポンサードセミナーには多数の企業にご協力いただきました。ハンズオンセミナーにはレーザーを設定しましたが、すぐに予約でいっぱいになってしまい、参加できなかった先生方には申し訳ないと感じております。

おわりに

自分としては群馬大学時代に培った(?)事務処理能力を活かして入念に学会準備をしてきたつもりでしたが、学会が始まってみるといろいろ足りない点がみえてきました。それでも、たくさんの方々に助けていただいたおかげで、手前味噌で恐縮ですが、とても充実した学会になりました。本当にあっというまの2日間でした。ご参加いただいた先生方、ご講演いただいた先生方、誠にありがとうございました。

開催にあたりまして、同門会の先生方、日本皮膚科学会の学会チームの皆様、岩手医科大学皮膚科の医局員・事務のメンバー(図3)、関係していただきましたすべての方々に心より感謝申し上げます。